

自ら**学ぶ力**をはぐくむ
豊かな心をはぐくむ
健康な体をはぐくむ
郷土愛をはぐくむ

県北プライド



「夢をかなえる教育」「笑顔あふれる学校」をめざして

校長 阿部 央

第2回いじめ熟議を終えて ～県北タイムス(生徒会通信)より～

11月27日(金)に本年度2回目のいじめ熟議を実施しました。今回のテーマは「差別・偏見によるいじめをなくすた

めに私たちがしなければならないこと」でした。校長は出張のため熟議の様子を見ることができませんでしたが、各学年の学年だよりなどを通して、全校生徒が自分のこととして真剣に考えていた様子を知ることができました。福島第一原子力発電所事故後、いわれのない差別や偏見、そして風評被害で苦しんできた福島県です。福島県で生活している者として、決して差別をしたり偏見の目で見ることがないように自分自身を見つめ直しているところです。

県北タイムスに掲載された生徒の生の声をご紹介します。

差別や偏見は、怖いから、知らないから、嫌なところを見つけて見下そうとしてしまうから起るのだと思いました。
 このことら、人とよく接し、よく知ることが大切だと思いました。

怖いからと言って逃げることは差別や偏見をなくすことにつながらないと分かりました。いろいろな情報を目や耳などで感じ取って実際に行動に移すことが大切だと思いました。

いろいろなことを深く知ろうとすること、全体を広く見つめてみることで、自分の意志を持つこと、周りの気持ちを思いやることが大切だと思いました。

一人一人が違って、それぞれの個性や特徴をプラスに考えて理解することが大切だと思いました。

元をただせば同じ世界に生きる人間なので、すべてを否定するのではなく、受け入れることも大切だと思いました。



《県北中学校 新アクションプラン》

- ① よく考えて判断する。
- ② 思いやりをもつ。
- ③ 流されない。

